

# グリーンタイムズ

2018.7.20 Vol.62

Crave

## 「明日に向かって」



代表取締役 小池 修

今年も大変厳しい暑さが例年より早くやってきました。天候が不順で各地で起きている災害には心が痛みます。現場で作業していただいているスタッフの皆さんには塩分や水分補給など熱中症対策を怠りなくお願いいたします。

さて2020年東京オリンピックの年に、クレイブは創業20周年を迎えます。これもひとえに、各派遣先様、受託先様にて奮闘努力していただいているスタッフの皆さんと、少数部隊ではありますがクレイブ社員の粘り、そして何より顧客様のクレイブへの厚いご信頼の賜物です。

20周年に向けてさらに力強いクレイブへと成長するために、7月1日より我が社に宮本恵司さんという強力な助っ人を社外取締役というお立場でお招きいたしました。宮本氏は三越常務取締役本店長からスタジオアルタ社長を経て、民事再生中の代々木アニメーション学院学院長として短期間に経営再建をはたし、現在においてもJMP社、パスコミュニケーション社社長を兼務しています。そのように経済人として第一線で現在もご活躍の宮本氏にご縁をいただき、クレイブ発展のためにご尽力いただけるということは、とても光栄で大変喜ばしいことです。

クレイブの発展に寄与できるよう力を合わせて努めてまいります。皆様の益々のご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 「新しいクレイブ新しい仲間」

専務取締役 池田 知恵子

クレイブは2000年に創業した派遣会社です。今思えば小さな船で大きな海に漕ぎ出したのですから、大波に揺られて転覆しそうになったり、凪いだ海に前にも後ろにも動けなくなったりとたくさん場面がありました。

これからクレイブは大きな波にもびくともしない大型船になります。楽しく快適で安全なクレイブ船、ご家族と一緒に安心して乗り込んでもらえるようなそんなクレイブを展開してまいります。新しい仲間、宮本取締役をご紹介します。



## 「クレイブで働くことの素晴らしさを一人一人実感しよう」 社外取締役 宮本 恵司

皆さん初めましてクレイブに7月から参加いたしました宮本恵司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

クレイブの成り立ちやこの18年間の歩みをみると、数回にわたる派遣法改正やリサイクル法改正などがあつた中で奇跡の企業活動であったこと。環境経営への積極的対応、ドライバー、作業員派遣からリサイクル工場受託などの点で、唯一無二の事業体であること。この2点を強く実感いたします。

また、クレイブの業務内容は、社会インフラをささえるという意義ある事業活動であること、このことは係る我々全員が胸を張って堂々と自慢できることであります。

小池社長は創立20周年(2020年)に向けて、更なる発展と働き甲斐のある職場作りを推進すると表明されています。そのために我々がなすべきことは、顧客様と揺るぎのない信頼関係を構築することです。それは皆様方が、日々積み上げている責任感、使命感を伴う行動、言動でしか成立しません。顧客様企業にもっともっと信頼され、先様と一心同体になって、先様の事を真剣に考えられる私たちがなければなりません。

私たち一人一人が、クレイブの代表というこの緊張感で働くことが、より自分を高めてくれることにもつながります。社会的意義と使命感を持って働く人は、すこぶる人生強くなり人として成長します。(これは、皆様がそう思った瞬間からそうなります)

日本一のプロ技術集団・プロ受託集団に皆さんと力を合わせて成長させていきましょう。日本一のクレイブになるべくお手助けが出来れば思っておりますので、宮本をこれからクレイブの一員としてよろしくお願いいたします。

